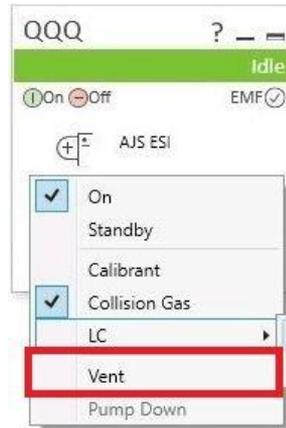


Agilent LC/MS Ultivo

大気開放(ベント)手順

① GUIから「ベント」を選択します。



※Actual画面からスタンバイ時の真空度をメモしておくことを推奨します

Actuals	
Parameter	Value
QQQ: Firmware Version	A.00.2.142
QQQ: High Vac	2.60E-5 Torr
QQQ: Rough Vac	2.13E+0 Torr
QQQ: Not Ready Text	

②ターボ速度が0%付近になり、ロータリポンプが停止するまで待ちます（停止後、内部圧力や温度が、徐々に大気圧、室温に戻るまで、30分から1時間程度待つことをおすすめします）。

③ MassHunter Acqを終了し、LauncherをShutdownの状態にします。

④ LCMS電源スイッチをOFFにします。

⑤ロータリーポンプのスイッチをO側のOFFにします。右写真参照。

⑥LCMSの電源ケーブルを、装置背面で抜きます。または壁のコンセントから抜きます。

⑦最後に、窒素ガス発生装置のスイッチをOFFにします。



Agilent LC/MS Ultivo

真空排気(ポンプダウン)手順

- ①最初に、窒素ガス発生装置のスイッチをONにします。30分以上暖機運転します。(排気ダクトもONにします)
- ②ロータリポンプのスイッチがO側のOFFを確認します。その後、LCMSの電源ケーブルを、壁のコンセントへ挿し、装置背面へ挿します。**※もしロータリポンプのスイッチがONの場合、電源ケーブルを挿した時に動き出しますのでご注意ください。**
- ③LCMS本体の電源スイッチをONにします。
- ④続いてロータリポンプのスイッチをONにします。
- ⑤バルブの音が2回した後、ソフトウェアを立ち上げます。
- ⑥ 真空を充分引いたあと、真空度を確認します。真空度、内部温度が充分安定するまで、電源を入れた後、一晩待つことをおすすめします。
- ⑦ システムチューン、またはチェックチューンを実施します。



※Actual画面から、スタンバイ時の真空度がベント前の値に近づいていることを確認します。
一般値 Rough Vac : ~2.6 Torr
High Vac : <5E-05 Torr